

## 第 1 回さいたま市障害者政策委員会 ワーキンググループ 会議録要旨

日 時：令和 4 年 5 月 23 日（月曜日） 14 時から 16 時まで

場 所：浦和区役所保健センター 5 階大会議室

出席者：政策委員

遅塚委員（座長）、相浦委員、赤尾委員、小山委員、酒井委員、佐藤委員、

中野委員、藤崎委員、横島委員

事務局

障害政策課、障害支援課

### 要 旨

#### 次第 1 次期計画策定のためのアンケートのスケジュール

##### 事務局説明

令和 3 年度第 2 回、3 回政策委員会から変更等のあった点について説明

資料 1 4 「今後のスケジュール（予定）」について

10 月アンケート発送、回収について、現時点での予定として 10 月 3 日（月）発送、回答期限は、10 月 31 日（月）とすることを説明。

##### 委員より

意見なし

- 次第2 次期計画策定のためのアンケートの調査概要について
- 次第3 次期計画策定のためのアンケートの設問内容について



一括協議

資料1 2 「調査の概要（予定）」について

## 事務局説明

- ・従来の6種類のアンケートを1種類にまとめる。
  - 1種類にする理由
  - 令和3年度第2回、3回政策委員会の意見を基にした  
主な意見
    - ・障害者の中には、重複して障害のある場合が多い。
    - ・一部の調査票で聞いている項目を別の調査票でも聞いてはどうか。
    - ・高次脳機能障害や発達障害、医療的ケアを必要とする人からももっと声を聞くべき。
    - ・精神科病院入院中の方を対象とした調査票を減らしたが回答率を上げる工夫をするべき。
  - 以上の意見を基に、1種類の調査票に属性に関する設問を多くすることで、対応できると考えた。
- ・1種類にまとめることにより、設問数が増えるため、回答率に影響する可能性を考慮し、設問数を一部削除する。

資料1 3 「配布・周知方法」について

## 事務局説明

- ・回収率や特定の回答者の分布への偏りが生じないように、対象者については無作為抽出とする。
  - ・対象者には郵送で配布
  - ・病院や当事者団体等へも直接配布
  - ・回収方法は、調査対象者のプライバシーを保護すること、調査票提出の自由意志を尊重することなどを配慮し、原則として、アンケートに同封する返信用の封筒で回収。
  - ・インターネットを活用したアンケートの回収について  
令和3年度第3回政策委員会において、スマートフォンなどインターネットを介した回収についてのご意見があった。回答者の利便性の向上や回答率の向上にもつながるものと考え検討するも以下の理由でアンケートでの実施は困難との結論となった。
    - ・理由1 アンケートの設問の数の多さ
    - ・理由2 設問の長さ。スマートフォンの小さい画面での回答も想定すると、1つ1つの設問は短くなければならないが、本アンケートは、設問が長くなったり、選択肢が多くなったりするため、不向きと考えた。
    - ・理由3 匿名性との両立が難しい。インターネット回答と郵送回答の重複回答、インターネットでの複数回答を避けるためには、調査票に識別番号を付ける必要があり、これにより匿名性が疑われることが考えられる。
- メリットも十分あるため、今後検討したい。

## 事務局説明

- ・番号2 性別について、LGBT に配慮し、削除も検討したが、性別による困りごともあると考え、任意もしくは選択肢を配慮した内容に変更。
- ・番号7 こちらは精神科病院に入院している方を対象とした調査票にのみあった項目。入院中の方の手帳の有無が直接計画に反映するものではないため削除。
- ・番号19 紙おむつの利用状況については、平成25年度当時、制度の検討の際に掲載した内容のものであり、現状としては継続して回答いただく内容ではないため削除。
- ・番号32 就労している方が障害を開示している場合に、その障害の種類を伺う項目。属性で障害を聞く項目があるため重複として削除します。
- ・番号36～39 平成25年度当時、ガソリン、タクシー券の補助制度の検討の際に掲載した。現在も当該制度について様々なご要望をいただいていることは承知しているが、計画策定に係るアンケート項目としては削除として検討。
- ・番号44 災害時の準備については、次の設問「災害時に希望する支援」において、ニーズや困りごとを調査することができるため削除。
- ・番号46 発達障害の有無については、調査票を統一したことに伴う新設
- ・番号51 精神科等の受診について、初診時の年齢については計画に直接反映されない個人情報であるため削除としています。
- ・番号53 精神科等の受診における、「入院・通院していない理由」については、アンケートの対象となる方は、手帳もしくは自立支援医療を受給している方であり、受診もしくは入院をしている方と想定される。精神障害以外の方でも精神科等に受診・入院している場合は、その後の調査項目に回答いただくこととなるが、受診も入院もしていない方は、そもそも精神疾患等がない方であり、この設問に該当する方はほとんどいないものと想定されるため削除。
- ・番号58～60 精神科病院等への入院に関する項目の「自身が入院の必要性を判断したか」、「自身が入院を必要とした理由」、「自身が入院を不要とした理由は設問と選択肢を工夫し、1つに統合。
- ・番号61・62 63・65 精神科病院等の入院時における外出、外泊時期や外出、外泊していない理由について統合。なお、外出外泊していない理由に、新型コロナウイルスの影響もあると伺った選択肢を追加します。
- ・番号64 精神科病院等の入院時における外泊の場所について、退院後したい生活の項目でニーズを確認することが可能であるため削除
- ・番号67～69 精神科病院等の「入院している理由」「退院したくない理由」「退院できる支援の条件」については、設問と選択肢を工夫し1つに統一。
- ・番号71 特定疾患や小児慢性医療に関する受給者証の有無について新設となります。
- ・番号72 難病の病名については、他の障害でも、疾患名まではきいておらず、計画策定におけるアンケートとして、個別の病名までは反映することは難しいため、削除。
- ・番号73 手帳を取得した原因は難病かについて、概ね難病を原因としていると見込まれ、また、計画に直接反映されない個人情報であるため削除。
- ・番号74 難病の発症時期については、計画に直接反映されない個人情報であるため削除。
- ・番号75 難病に関わる継続的な医療の有無については、概ね継続的な医療は必要であると見

込まれ、また、計画に直接反映されない個人情報であるため削除。

- ・番号78～80 難病を原因として、過去3年以内の入院の有無、過去3年以内の通算入院期間、過去3年以内の入院の目的については、計画に直接反映されない個人情報であるため削除。
- ・番号83・84 成年後見に関する設問の内、「成年後見制度申立てのきっかけ」「成年後見制度を利用した感想」については、その後にある「成年後見制度を利用しなかった理由」で対応できるため削除。
- ・番号86 成年後見に関する自由記載欄について、最後に自由記載欄があるため、削除。
- ・番号91・92 「障害者差別解消法を知っているか」・「障害者雇用促進法を知っているか」については、当該法律の施行当時に行った設問であるため、削除。
- ・設問95 「インターネット方式での回答を選択するか」については、次のアンケート実施に向け、改めてインターネットを利用した回答の検討材料とするため新設。
- ・ワーキンググループ欠席の委員より  
「アンケート調査の集計においてネガティブな声が多かったりしますので、『一当事者として（あるいは一市民として）自分ならどのようなアイデアがあるか』『自分ならどのようなことができるか、考えられるか』など、ポジティブなことを書いていただく欄があると今後の政策として検討する一案が収集できるかもしれません」と書面意見あり。  
紙面の都合も検討しながら、自由記載欄を活用し、意見をアンケートに反映させたい。

#### 資料5 調査票を1種類の統合した調査票のイメージについて

##### 事務局説明

- ・属性については、原則、アンケートの初めに移動。  
(発達障害、精神科受診、精神科入院、難病はそれぞれの設問の初め)
- ・削除予定の設問は、<削除>と記載し二重線を引いている。
- ・次の作業は、これから契約する委託業者で行う予定です。
  - ・設問番号を整える
  - ・調査対象者がわかるように説明を追加する
  - ・手帳の順番について、身体・療育・精神 の順番で統一する
  - ・回答しやすいようにレイアウトを調整する
- ・令和3年度第3回政策委員会において意見をいただいたわかりやすい表現に修正は本日の協議を踏まえ、調査票が固まった段階で文言を修正。
- ・前回の調査票では身体障害、知的障害、発達障害の調査票にすべてルビを振って。調査票を1本化するため調査票にルビを入れて作成する。
- ・回答における注意事項等について、調査票を統一したことで一部修正する。
- ・最終ページが39ページとなっている。今後、意見を反映させ、最終版となる。前回の調査票が最大で24ページ。アンケート項目が多くなると、回答率が下がる傾向にあるため、項目を減らしたい。
- ・回答の返信は前回まで定型封筒を利用。今回のアンケートはページが増えることが想定され、場合によっては定形外封筒での返信になる場合もある。その場合、郵送料の増額が想定される。